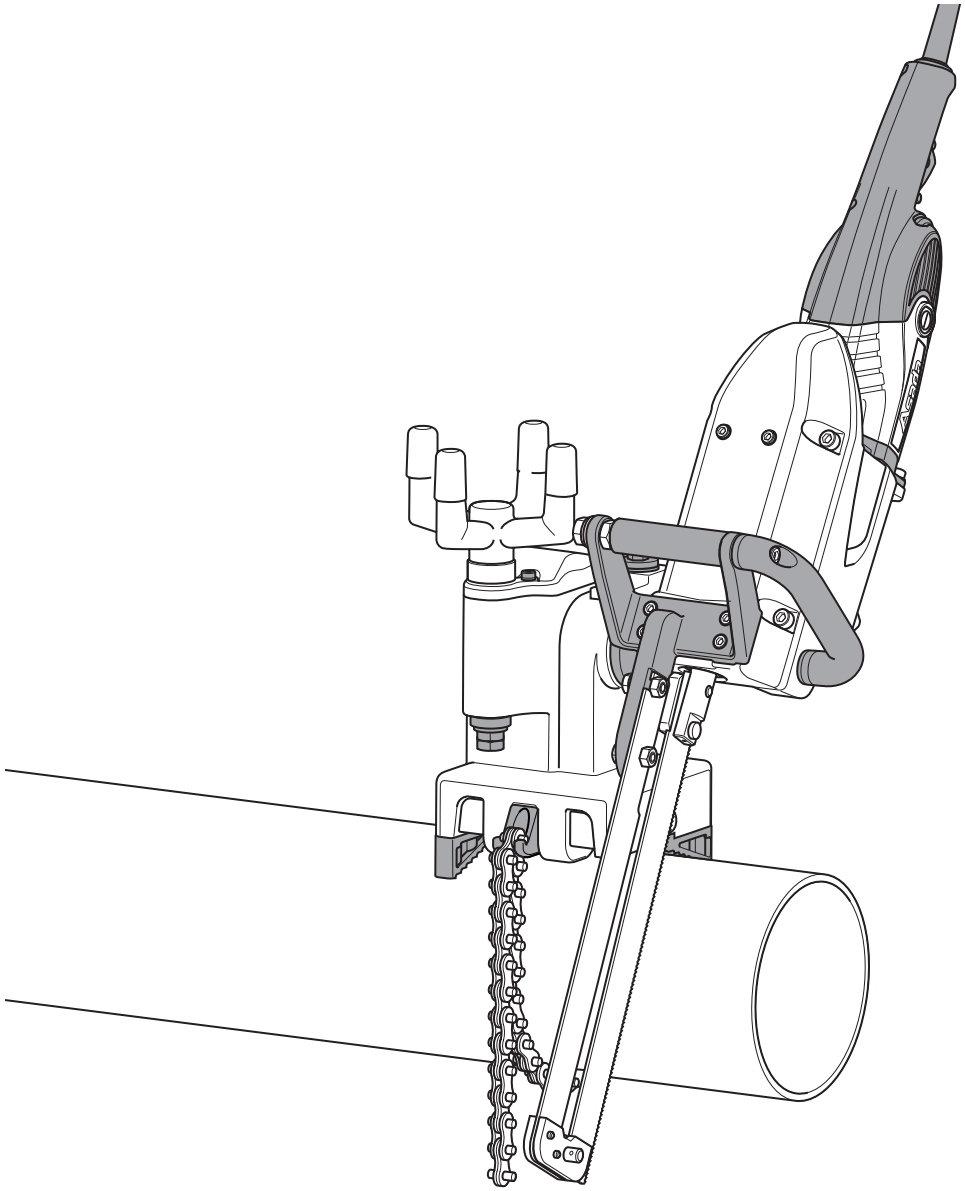
Asada
環境を守る親切ツール

大口径既設管切断機

パイプソー 380SP

取扱説明書



二重絶縁

【ご使用前に必ず本書をお読みください。】

パイプソー 380SP

安全にご使用いただくために

このたびは、パイプソー 380SP をお買い上げいただきましてありがとうございます。

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
- 適切な取扱いで本機の性能を十分発揮させ、安全な作業をしてください。
- 本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- 本機を使用用途以外の目的で使わないでください。
  本機は、鋼管・ダクタイル鋳鉄管、ステンレス管・樹脂管などの既設配管などを切断するための機械です。
- 商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。
  ・ご注文の商品の仕様と違いはないか。
  ・輸送中の事故等で破損、変形していないか。
  ・付属品等に不足はないか。
  万一不具合が発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または弊社営業所にお申し付けください。
  （本書記載内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。）

警告表示の分類

本書および本機に使用している警告表示は、次の 3 つのレベルに分類されます。

⚠ 危 険 本機に接触または接近する使用者･第三者等が、その取扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状態。

⚠ 警 告 本機に接触または接近する使用者･第三者等が、その取扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。

⚠ 注 意 本機に接触または接近する使用者･第三者等が、その取扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、軽症または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状態。または、本機に損傷をもたらす状態。

目　次

安全上のご注意 2
使用上のご注意 5
製品の構成 7
　各部の名称 7
　仕様 8
　標準付属品 8
　別販売品 9
準備 10
　運搬 10
　漏電しゃ断器の確認 10
　延長コードの確認 10
　作業環境の整備・確認 10
使用方法 11
　バイスの取付け 11
　本体の取付け 13
　のこ刃の取付け 13
　ガイドプレートの取付け 14
　切断 15
　埋設管の切断 18
　縦管の切断 19
使用後の清掃 19
保守・点検 20
修理・サービスを依頼される前に 22

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、必要なときにすぐに取り出して読めるよう大切に保管してください。

⚠ 危 険

◆ ガソリン、シンナーなど、可燃性の液体やガスのある場所では使用しないでください。
引火、爆発の恐れがあります。

⚠ 警 告

◆ 使用電源は正しい電圧で使用してください。
必ず本体の銘板、もしくは取扱説明書に定格表示してある電圧でご使用ください。
表示電圧以外の電圧で使用すると、発熱・発煙・発火の恐れがあります。

◆ 電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが OFF になっていることを確認してください。
スイッチが ON の状態で電源プラグをコンセントに差し込むと、急に機械が動き出し思わぬ事故やけがの原因になります。必ずスイッチが OFF になっていることを確認してください。

◆ 感電に注意してください。
濡れた手で電源プラグに触れないでください。
雨中・機械内部に水の入りやすい場所などでは使用しないでください。
アースは必ず接地してください。（二重絶縁の機械は除く）
感電の恐れがあります。

◆ 作業場での周囲状況も考慮してください。
雨中・湿った場所・濡れた場所・機械内部に水の入りやすい場所などでは使用しないでください。
湿気はモータの絶縁を弱めたり、感電事故の原因となります。

◆ 保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

◆ 加工するものを取扱説明書に記載されている方法でしっかりと固定してください。
固定が不十分な場合は、事故やけがの原因になります。

◆ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になります。

◆ 完全な停止を確認するまで、刃物や回転部には絶対に触れないでください。
運転中はもちろん、スイッチを OFF にしても少しの間、刃物類は慣性で動きますので動いている間は絶対に刃物や回転部に触れないでください。
刃物の交換等で刃物や回転部に触れる場合は、本機のスイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いて作業を行ってください。
思わぬけがの原因になります。

パイプソー 380SP

⚠ 警告

◆次の場合は、本機のスイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

・使用しない、または部品の交換・修理・掃除・点検をする場合
・刃物などの付属品を交換する場合
・その他危険が予想される場合（停電の際も含みます）

電源プラグが差し込まれたままだと、不意に本機が作動してけがの原因になります。

◆異常を感じたらすぐに運転を中止してください。

運転中、機械の調子が悪かったり、異臭や振動･異常音などに気が付いた場合は直ちに機械の運転を中止し、取扱説明書の P21『修理・サービスを依頼される前に』の項目に症状を照らし合わせ、該当する指示に従ってください。

そのまま使用すると、発熱・発煙・発火の恐れがあり、事故やけがの原因となります。

◆作業場は、いつもきれいに保ってください。

作業台・作業場所は常に整理整頓を心がけ、十分明るくしておいてください。

ちらかった場所や作業台は事故の原因になります。

◆作業関係者以外は近づけないでください。

作業者以外、本体や電源コードに触れさせたり機械の操作をさせないでください。

作業者以外、作業場へ近づけないでください。特に、子供には十分注意してください。

事故やけがの原因になります。

◆無理して使用しないでください。

使用用途以外には使わないでください。

安全に能率よく作業するために、本機の能力に合った作業をしてください。

無理な作業は製品の損傷を招くばかりでなく、事故の原因となります。

モータがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙・発火の恐れがあります。

◆きちんとした服装で作業してください。

ネクタイ・そで口の開いた服・網手袋・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。

回転部に巻き込まれる恐れがあります。

屋外での作業の場合は、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。

滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。

長い髪は、帽子やヘアーカバーなどで覆ってください。作業環境により、保安帽・安全靴などを着用してください。

◆無理な姿勢で作業をしないでください。

常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

転倒してけがの原因になります。

◆レンチなどの工具類は、必ず取外してください。

スイッチを入れる前に、点検・調節に用いた工具類が取外してあることを確認してください。

付けたままで作動させると、事故やけがの原因になります。

◆油断しないで十分注意して作業を行ってください。

取扱方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業してください。

注意を怠ると事故やケガの原因となります。

疲れているとき、酒を飲んだとき、病気や薬物の影響、その他の理由により、作業に集中できない場合は、使用しないでください。事故やケガの原因となります。

⚠ 警告

◆ コードは乱暴に扱わないでください。

コードを持って本機を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから引き抜いたりしないでください。
コードを高熱・油脂類・刃物類・角のとがった所に近づけないでください。
コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、配線する場所に注意してください。
感電やショートして発火する恐れがあります。

◆ 日ごろから注意深く手入れをしてください。

安全に能率よく作業していただくために、刃物類はいつも良い切れ味の状態でお使いください。
刃物が用途に合っていなかったり、磨耗したり、損傷した状態で使用すると、モータや本体に負担がかかり発熱・発煙・発火の恐れがあるほか、けがの原因にもなります。
付属品や刃物の交換は、取扱説明書に従ってください。
コードや電源プラグは使用前に点検し、損傷している場合は使用を止めてお買い求めの販売店、または弊社営業所に修理を依頼してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
握り部は常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。滑って、けがの原因になります。

◆ 損傷した部品がないか点検してください。

使用する前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の損傷、取付け状態、その他、運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
電源プラグやコードが破損している機械は使用しないでください。
感電や、ショートして発火する恐れがあります。
スイッチで始動および停止操作のできない機械は使用しないでください。
破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、または弊社営業所に修理を依頼してください。

◆ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

乾燥した場所で、子供の手の届かない所、または鍵のかかる所に保管してください。

◆ 機械の分解・修理は、専門店に依頼してください。

弊社の製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
修理は必ずお買い求めの販売店、または弊社営業所にお申し付けください。
修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、けがの原因になります。

◆ 機械等についているラベルが取れた場合は、必ず請求して新しいものをつけてください。

パイプソー 380SP

使用上のご注意

● 先に一般的な注意事項を述べましたが、パイプソー 380SP をご使用するにあたって、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 危 険

◆ **生ガス・残留ガスのあるパイプは切断しないでください。**
モータからの火花や切削熱により、引火・爆発の原因になります。

⚠ 警 告

◆ **作業する箇所に電線管・水道管・ガス管などの埋設物がないことを作業前に十分注意して確認してください。**
埋設物があると、のこ刃が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。

◆ **残水パイプを切断する場合は、本機に水がかからないようにしてください。**
水がかかると感電します。また、ギヤボックス内に水が入り、ギヤが破損します。

◆ **使用中は、本機を確実に保持してください。**
確実に保持していないと、思わぬけがの原因になります。

◆ **誤って落としたり、ぶつけたときは、のこ刃や本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
のこ刃や本機に破損や亀裂・変形があると、事故やけがの原因になります。

◆ **のこ刃の交換時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**
急に動きだしたりし、けがの原因になります。

◆ **のこ刃を正しく本機に取付けてください。**
のこ刃が外れ、けがの原因になります。

◆ **のこ刃で、コードなどを切断しないように注意してください。**
感電の恐れがあります。

◆ **使用中は、のこ刃や切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。**
のこ刃に巻き込まれて、事故やけがの原因になります。

◆ **高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。**
また、コードを引っかけたりしないでください。
材料や本機などを落としたときなど、事故の原因になります。

⚠ 注 意

◆ **移動させるときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
のこ刃が急に動き出し、事故やけがの原因になります。

◆ **切断直後の本機・のこ刃・切り屑、または切断材料に手を触れないでください。**
切断作業直後は、高温になっていますので、火傷やけがの原因になります。

◆ **壁や隣接するパイプなどの障害物の近くで切断する場合は、のこ刃先端が障害物に当たらないように距離をあけてください。**
本機やのこ刃を破損する恐れがあります。

◆ **能力以上の材料は切断しないでください。**
切断能力以上の材料を切断すると、のこ刃が折損します。

◆ **のこ刃は、純正品を使用してください。**
純正品以外ののこ刃では、思わぬ事故を招く恐れがあります。

パイプソー 380SP

製品の構成

各部の名称

モータグリップ
スイッチ
スピードコントローラ
ブラシホルダキャップ
モータ
本体グリップ
本体
送りハンドル
サイドハンドル
送りバイス
ソーガイド
ガイドプレート
のこ刃
チェーン
電源コード（プラグ）
② バイス上面
警告ラベル
③ 機銘板
① 警告ラベル
チェーン受けローラ

警告ラベル

※ 本機には警告ラベルが貼付してあります。
安全確保のための説明が書かれていますので
きれいに保ち、はがれたり、見づらくなった
場合は、弊社へ請求してください。
そして必ず同じ場所に貼り直してください。

① 警告ラベル

② バイス上面警告ラベル

③ 機銘板

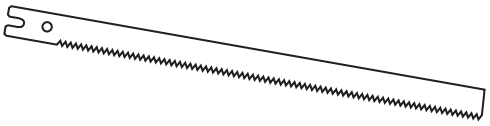
PIPE SAW 380SP

仕　様

品　名		パイプソー380SP(バイメタル仕様)	パイプソー380SP(グリットソー仕様)
コードNo.		PS380SP	PS381SP
切断能力	鋼管	50A～350A（厚さ9㎜まで）	
	ステンレス管	50A～300A（厚さ9㎜まで）	
モータ		単相直巻整流子モータ100V　50/60Hz	
消費電力		1300W	
動　力		直結モータ式	
ストローク長		57㎜	
無負荷ストローク数		120～360回/分	
質量・大きさ	本　体	11kg・612×302×252㎜	
	送りバイス	8kg・173×210×326㎜	
	収納ケース	3.5kg・785×370×325㎜	
総質量（梱包状態）		28.5kg・800×380×360㎜	

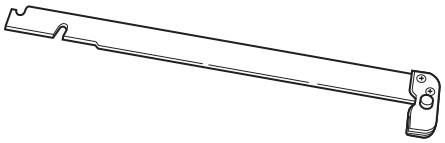
※品質向上のため、仕様は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

標準付属品



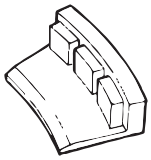
各種のこ刃

バイメタル仕様	のこ刃バイメタル
	（380×8 山）1 本
	（490×8 山）1 本
グリットソー仕様	のこ刃グリットソー
	（380×8 山）1 本
	（480×8 山）1 本

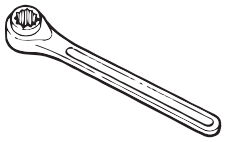


各種ガイドプレート組

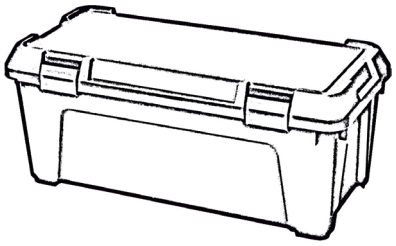
（300A）1 本
（200A）1 本



マグネット付クサビ L
（58612）



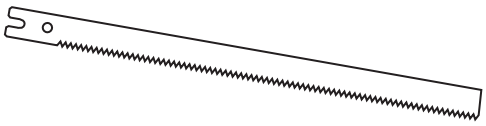
ラチェットレンチ 13
（PS313）



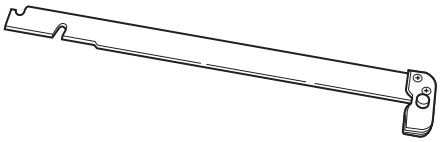
収納ケース
（PS520）

パイプソー 380SP

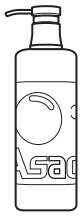
別販売品



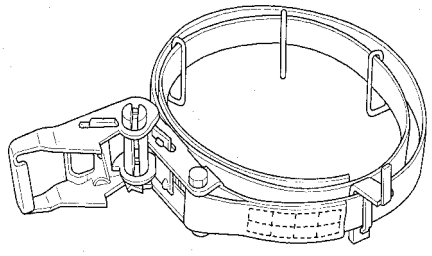
各種のこ刃（下表参照）



各種ガイドプレート組（下表参照）



切削油（ねじ切オイル白）
（ST014）



バイス取付アタッチメント
（PS350）

品　名	サイズ	切断能力	コードNo.	単位	用　途
のこ刃バイメタル	320×8山	～150A	71117	5本	ステンレス管 鋳鉄管・鋼管
	380×8山	～200A	71118	5本	
	440×8山	～250A	71119	5本	
	490×8山	～300A	71120	5本	
	530×8山	～350A	71121※	5本	鋳鉄管・鋼管
のこ刃グリットソー	320	～150A	70288	5本	水道用モルタル ライニング鋳鉄管
	380	～200A	70289	5本	
	430	～250A	70260	5本	
	480	～300A	70261	5本	
	530	～350A	70262	5本	
ガイドプレート組	（200A）	－	PS301	1組	－
	（250A）	－	PS261	1組	
	（300A）	－	PS262	1組	
	（350A）	－	PS263	1組	

※コード№71121は、ステンレス管に使用できません。

準　備

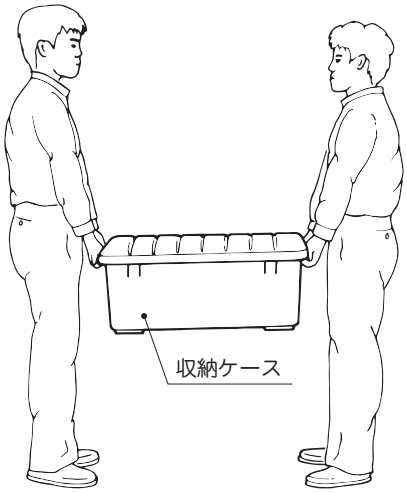
運搬

● 運搬時は収納ケースに入れて運搬してください。

⚠ 注 意

◆本機は重量物（バイス 8kg、本体 11kg）ですので、運搬は必ず二人で行ってください。
持ち上げるときはひざを曲げ、腰に負担がかからないようにしてください。
無理に持ち上げると腰を痛めます。

◆運搬時は、必ずのこ刃を取り外してください。
不意にのこ刃があたり、けがをします。



漏電しゃ断器の確認

● この製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されているコンセントに接続することをお勧めします。

延長コードの確認

① コンセントの位置が離れていて延長コードが必要なときは、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくために、電流を流すのに十分な太さのものを短くしてご使用ください。

② 次の表は、コードの太さ（芯線断面積）によって、本機に使用できるコードの最大長さを示します。

これ以上の長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

芯線断面積	最大長さ
1.25㎟	10m
2.0㎟	15m
3.5㎟	30m

⚠ 警 告

◆ 延長コードは、損傷のないものを使用してください。
感電やショートして発火する恐れがあります。

作業環境の整備・確認

● 作業する場所が『安全上のご注意』と『使用上のご注意』の注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

騒音防止規制について

◎ 騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じて、遮音壁を設けて作業してください。

パイプソー 380SP

使用方法

● ご使用される前に必ず『安全上のご注意』と『使用上のご注意』の注意事項（P2 ～ P6）をお読みください。

⚠ 警 告

◆ **延長コードは、損傷のないものを使用してください。**
感電やショートして発火する恐れがあります。

◆ **使用電源は、銘板に表示してある電源で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると、速度が異常に高速となり、けがの原因になります。
表示を超える電圧で使用すると、発熱・発煙・発火の恐れがあります。

◆ **電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチがOFFになっていることを確認してください。**
スイッチはトリガーを引くと入り、離すと切れます。トリガーを引き、離したときにトリガーが戻ることを必ず確認してください。
スイッチが ON の状態で電源プラグをコンセントに差し込むと、急に機械が動き出し思わぬ事故につながります。必ずスイッチが OFF になっていることを確認してください。
事故やけがの原因になります。

◆ **エンジン発電機を使用する場合は、インバータ制御付エンジン発電機（2.8KVA 以上）を使用してください。**
インバータ制御が付いていないエンジン発電機を使用すると本機の故障の原因となります。

バイスの取付け

⚠ 警 告

◆ **切削油で汚れたバイスおよび本体は滑りやすいので、切削油をよく拭き取り、持ち上げてください。**
足の上にバイスを落とし、けがをします。

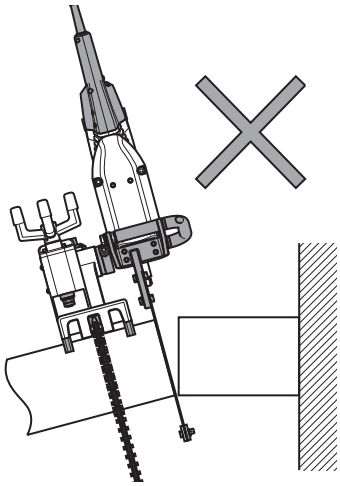
◆ **バイスを取付けるときは、管（既設配管）の保持力を確認してください。**
また、老朽化した管には取付けないでください。
管（既設配管）に保持力がないと、バイスおよび本機を取付けたときに、管ごと落下し、けがをします。

◆ **本機は重量物です。高所に取りつける際は十分注意してください。**
思わぬ事故の原因となります。

◆ **バイスは『切り落とし側』に取付けないでください。**
管切断後にバイスごと落下し危険です。（右図）

◆ **バイスはしっかり固定してください。**
バイスの固定力がゆるいとバイスや本機が落下したり、切断中にのこ刃が折損する恐れがあります。

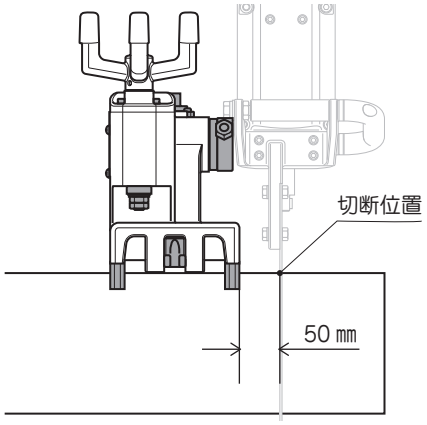
◆ **バイスを固定するときや下へ降ろすときに手（指）の位置に注意してください。**
手（指）をはさみ、けがをします。



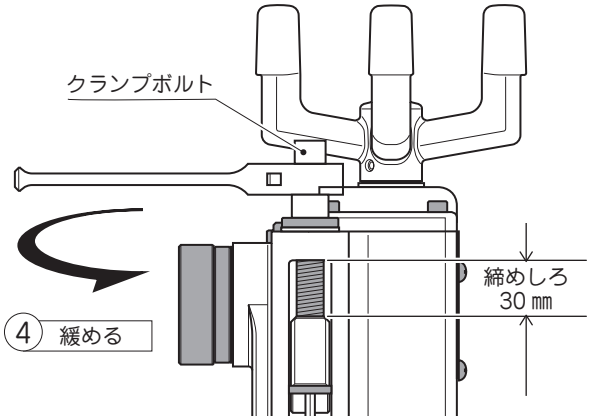
① 切断する位置を管にマーキングしておきます。

② 管およびバイス爪に付着した異物・汚れをきれいに落とします。異物が残ったままバイスを固定すると切断中にバイスが緩む恐れがあります。またはパイプを真っ直ぐに切断できません。

③ バイスを管にのせます。このとき、切断位置より50㎜手前にバイス側面が来るようにします。

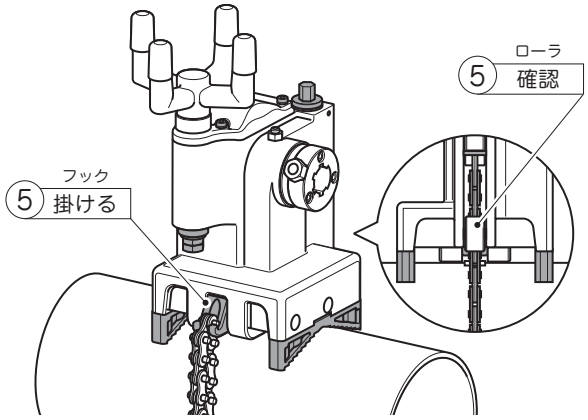


④ ラチェットレンチを使用してクランプボルトをいっぱいまで緩めます。
クランプボルトを緩めておかないと締め代がないので、しっかり固定できません。（締めしろは 30㎜）



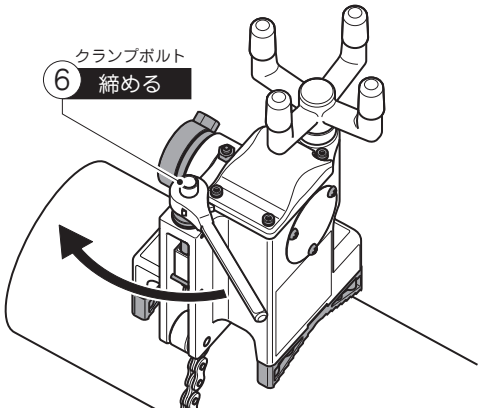
⑤ フックにチェーンを掛けます。
このときチェーンがチェーン受けローラの内側を通っているか確認してください。

また、チェーンが斜めに巻きついていないか確認してください。



⑥ ラチェットレンチを使用してクランプボルトを回し、チェーンを締め上げます。（245 ～ 294N）

⑦ 余ったチェーンは、のこ刃の軌道上にこないようにしてください。



パイプソー 380SP

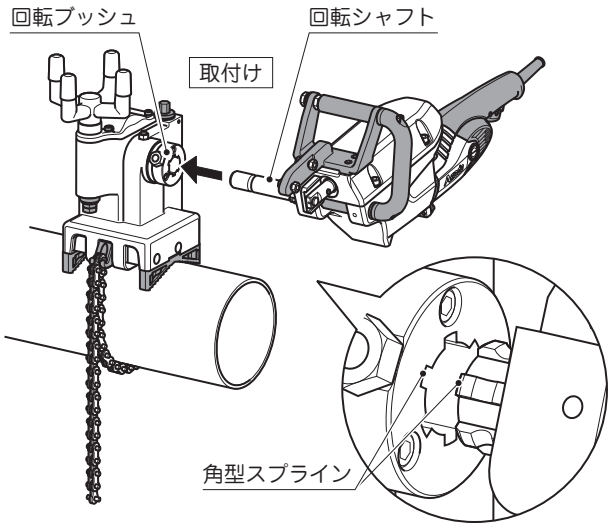
本体の取付け

① 電源プラグは抜いておきます。

② 本体の回転シャフトおよびバイスの回転ブッシュに異物がないか確認します。異物がある場合は取り除いてください。

③ 両手で本体グリップとモータグリップをしっかり持ち、本体をバイスに取付けます。

本体の回転シャフトをバイスの回転ブッシュに差し込みます。
このとき互いの角型スプラインを任意の角度に合わせ、奥に突き当たるまで本体を差しこみます。



のこ刃の取付け

⚠ 注 意

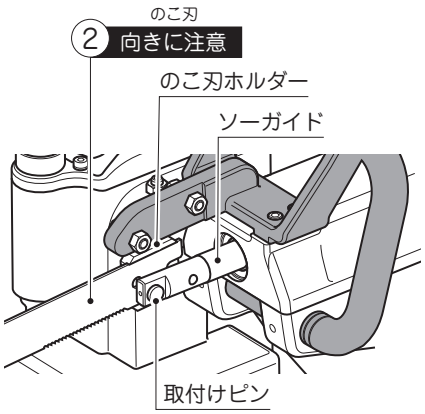
◆ **のこ刃は、管径にあったサイズのものを使用してください。**
のこ刃の切断能力以上の太い管を切断すると、のこ刃先端が管内壁に当たり、のこ刃を折損します。

◆ **刃欠け・磨耗・損傷などのある、のこ刃は使用しないでください。**
切断面の抵抗が大きくなり負荷がかかるため、故障の原因になります。

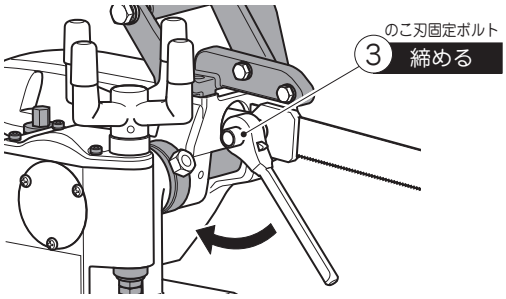
◆ **のこ刃を確実に締め付けてください。**
締め付けがゆるいと、切断中にのこ刃が外れたり、本体やのこ刃が損傷します。
また、事故の原因ともなります。

① 切断するパイプのサイズ・材質に合った、のこ刃を選択します。

② のこ刃を『のこ刃ホルダー』と『ソーガイド』の間に差し込み、『のこ刃固定ボルト』と『取付けピン』に掛けます。（のこ刃の向きに注意）



③『のこ刃固定ボルト』（平ワッシャ付）を付属のラチェットレンチで締め付けます。

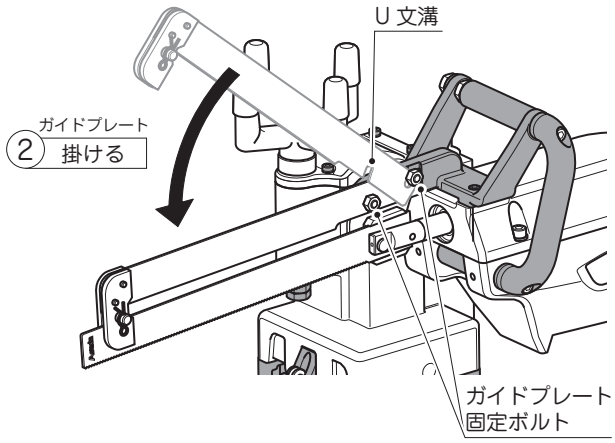


ガイドプレートの取付け

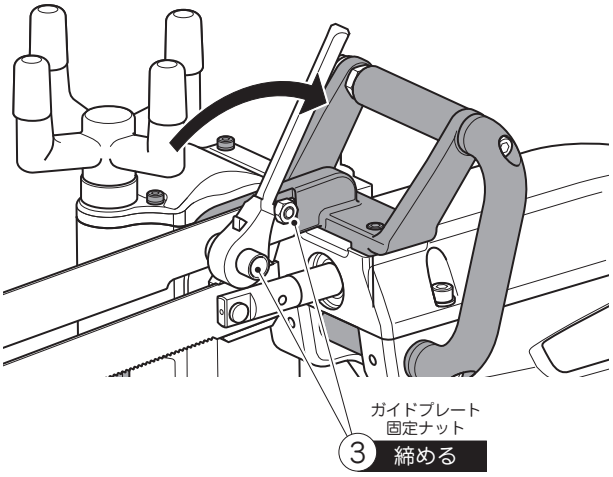
① のこ刃のサイズに合った、ガイドプレートを選択します。

② 『ガイドプレート固定ボルト』（２箇所）に『ガイドプレート』のＵ字溝を掛けます。

このとき、のこ刃の背が『ガイド』のすき間に通っていることを確認してください。



③ 『ガイドプレート固定ボルト』（２箇所）を付属のラチェットレンチで固定します。



パイプソー 380SP

切　断

⚠ 注 意

◆モルタルライニング鋳鉄管を切断するときは、粉じんがでますので、必ず防じんマスクを着用してください。
粉じんを吸い込み、健康を害します。

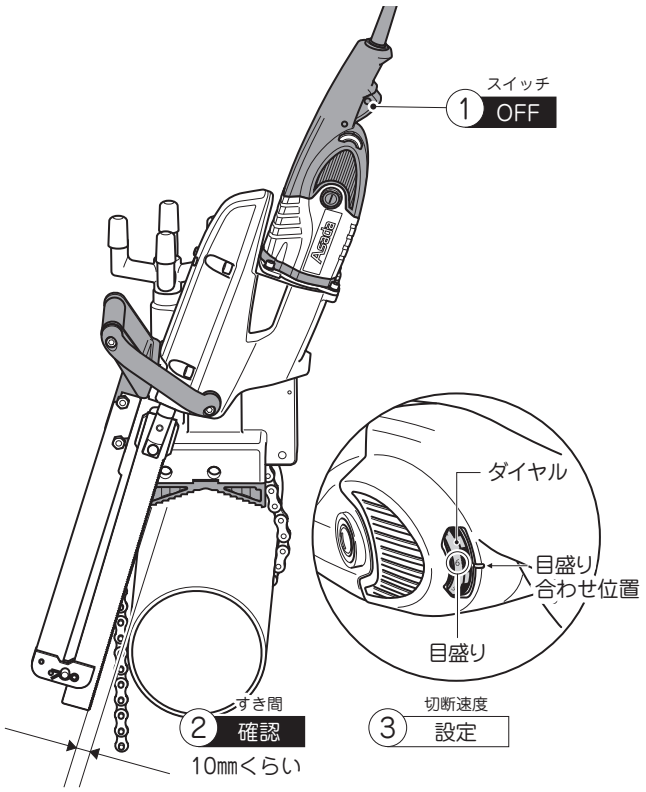
◆低速で長い時間連続して作業しないでください。
モータが焼損する恐れがあります。

◆切断中に、のこ刃が停止するような無理な使い方はしないでください。
モータに無理がかかり、損傷する恐れがあります。

① スイッチが OFF になっていることを確認し、
電源プラグをコンセントに差し込みます。

② のこ刃が管から少し離れていることを確認します。
（10㎜くらい）

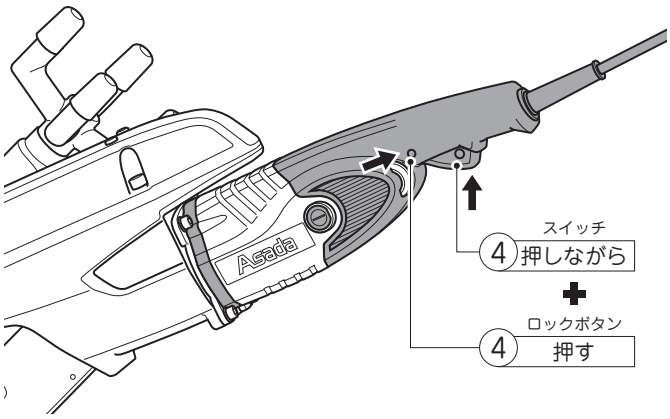
③ 切断速度を設定します。



		パイプの厚み	スピード コントローラ目盛	のこ刃
パイプ	鋼管（SGP・STPG）	6㎜以下	4	バイメタル
		6～9㎜	6	
	ダクタイル鋳鉄管（ガス用・内面樹脂皮膜）	6㎜	4	
		7.5㎜	6	
	ダクタイル鋳鉄管モルタルライニング（水道用）	厚み関係なし	6	グリットソー
	ステンレス管	6㎜以下	2	バイメタル
		6～8㎜	3	
	樹脂管	10㎜以下	2	
		10～20㎜	3	

④ スイッチを ON にしてロックボタンを押し、
スイッチをロックします。

再度スイッチを押すとロックは解除されます。

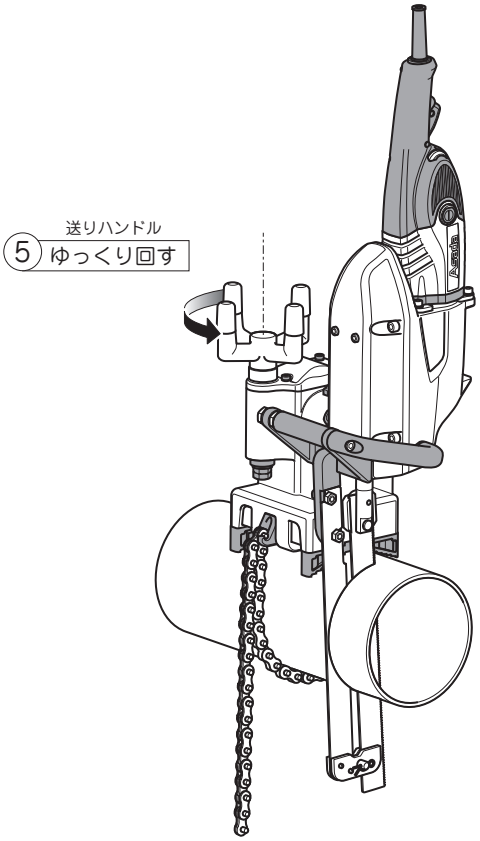


⑤ 送りハンドルを反時計方向に回し、ゆっくりと切断していきます。
ハンドルの送り加減は、ストローク速度が落ちない程度の力で回してください。

⑥ 管の材質によって切削油を使用します。

管の種類	切削油の使用
鉄管	使用する
ステンレス管	
ダクタイル鋳鉄管	使用しない
モルタルライニング鋳鉄管	
樹脂管	

⑦ 150A 以下の配管を切断する場合は、200A ガイドプレート、200A のこ刃を使用して切断すると斜断が少なくなります。



過負荷保護装置

● 本機には、過負荷保護装置が内蔵しています。
モータ保護のため、以下の状態になると自動的にモータが停止します。
・モータが一定温度以上に上昇する
・高負荷で切断を続ける
・土圧、挟み込み等によりモータがロックする
・低電圧での使用による過電流
その場合は、スイッチのロックを解除して、モータの温度が下がるまでしばらく待ってから再度スイッチをＯＮにして使用してください。

⚠ 注 意

◆ **ステンレス鋼管切断時、のこ刃のストローク速度が低速のため、あまり力を入れすぎると過負荷保護装置が作動する場合がありますが、異常ではありません。**

パイプソー 380SP

⚠ 注 意

◆ **切削油は、必ずねじ切りオイル白（No.ST014）を使用してください。**
のこ刃のすべり、異常磨耗が発生する恐れがあります。

◆ **保護手袋を着用してください。**
切削油が皮膚に触れると炎症を起こす恐れがあります。

◆ **切削油を使用したときは、飛び散った切削油をふき取ってください。**
切削油で足元が滑りやすくなり、転倒する恐れがあります。

◆ **オイルミストを吸い込まないようにしてください。**
気分が悪くなります。もし吸った場合は、新鮮な空気の場所に移動し、安静にして医師の診断を受けてください。

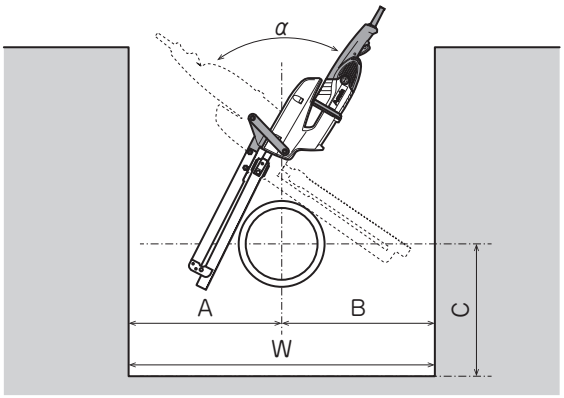
◆ **切削油は火気に近づけないでください。**
消防法では、危険物等級Ⅲに該当します。

⑧ 切断が終了したらスイッチを OFF にし、ハンドルを時計方向に戻し、電源プラグを抜いてください。

⑨ 切断後はのこ刃やガイドプレートが高温になっています。
少し時間をおいてから、ガイドプレート→のこ刃→本体→バイスの順に取り外します。

埋設管の切断

① 埋設管を切断する場合は、作業スペースを確保してください。



パイプサイズ	A寸法	B寸法	最小作業スペースW	C寸法	機械の作業角度
150A	210㎜	215㎜	425㎜	200㎜	57°
200A	255㎜	265㎜	520㎜	230㎜	64°
250A	300㎜	320㎜	620㎜	260㎜	68°
300A	350㎜	370㎜	720㎜	280㎜	76°
350A	390㎜	420㎜	810㎜	300㎜	83°

※ここに示した寸法は最低値ですので、作業スペースはできるだけ広く確保するようにしてください。

② 埋設管を切断する場合は、土圧の影響で切断中にのこ刃が管に挟み込まれることがあります。
このときは、切断口にマグネット付きクサビを使用してください。

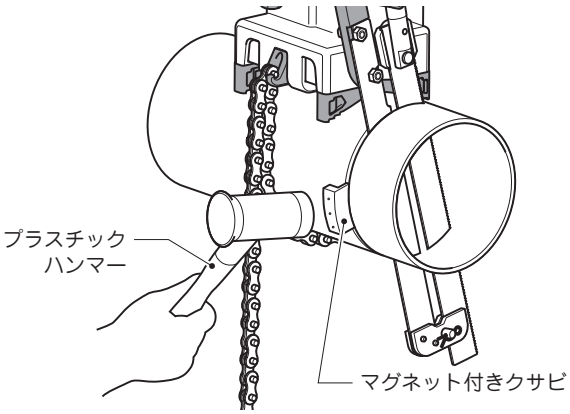
③ 土圧の影響でのこ刃が管に挟み込まれ場合は、

・直ちにトリガースイッチを引きます。
・ON ロックを解除しモータを停止する。
・その後、マグネット付クサビまたはタガネ等を打ち込み、のこ刃を外します。

■ マグネット付きクサビの使用方法

① 切り始め位置から、ガイドプレートの背が約 30㎜入ったところでマグネット付きクサビを打ち込みます。（管が細い場合、のこ刃の背が約 30㎜入ったところでガイドプレートを外し、マグネット付きクサビを打ち込みます）

② 手で押して入らないときは、プラスチックハンマー等で軽く打ち込んでください。



縦管の切断

⚠ 警 告

◆バイスは、必ず二人で取付け作業を行ってください。
本機は重量物（バイス 8kg、本体 11kg）です。
無理に一人で取付けようとすると、本機を落下させ、けがをします。

◆切り落とし側が上になるように、管にバイスを取付けてください。
切断後、切り落とされたパイプと一緒に本機が落下し、けがをします。

① 管およびバイスの爪に付着した異物・汚れをきれいに落とします。

② 一人はバイスを両手で縦管に固定し、しっかり保持します。
このとき、本体がバイスの上側になるようにバイスの向きを考えます。（切断部が上側になる）

③ もう一人がバイスのチェーンを縦管に巻き、付属のラチェットレンチでクランプボルトを回し、バイスを固定します。特に縦管へ固定したときは、チェーンがたるみやすいので注意してください。

※ チェーンの巻き付けおよびクランプボルトの締め付けは、『P11 バイスの取付け』を参照してください。

④ 途中まで切断すると管の自重で、のこ刃が挟まれますのでマグネット付きクサビを打ち込んでください。

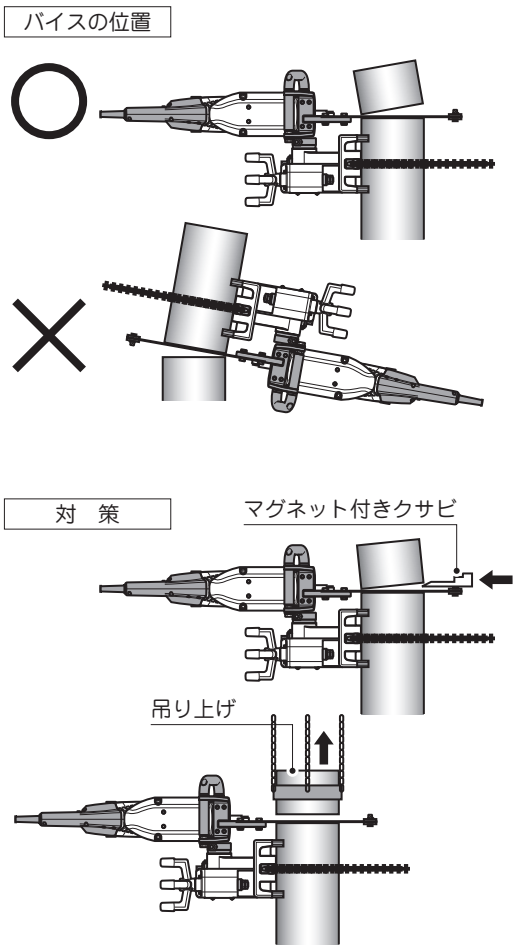
⑤ 切り終わり間際に管の自重で、のこ刃を挟み込んでしまいますので、次の対策を施してください。

［対策 1］マグネット付きクサビを 2 ～ 3 個打っておく
［対策 2］管をあらかじめ吊り上げておく

⑥『のこ刃』・『ガイドプレート』・『本機』を取り外します。

⑦ 一人はバイスを両手でしっかり保持します。

⑧ もう一人が付属のラチェットレンチでクランプボルトを回し、チェーンをゆっくり緩め、バイスを落とさないように外します。



使用後の清掃

● 本機の上や周りに付着した切粉・土・砂・水分などをワイヤーブラシなどで拭き取ってください。
本機や周りに飛散した切削油をウエスで拭き取ってください。

⚠ 注 意

◆ 切粉をエアーで吹き飛ばさないでください。
目に入り、失明することがあります。

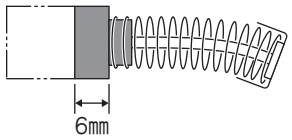
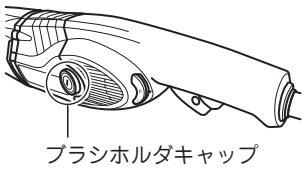
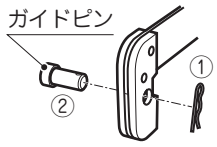
◆ 切粉は鋭利ですから、素手で触らないでください。必ず保護手袋をはめてください。
けがをする恐れがあります。

保守・点検

⚠ 警 告

◆ **点検・お手入れの際は、必ずスイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
不意に起動し、思わぬ事故の原因となります。

● 以下の箇所を定期的に点検・清掃し、適時修正または交換を行ってください。

保守・点検項目	処　置
電源プラグ・コードの損傷がないか確認	損傷がある場合は交換してください。
のこ刃の刃欠け・磨耗・損傷がないか確認	刃欠け・磨耗・損傷がある場合は交換してください。 のこ刃の交換方法は、P13『のこ刃の取付け』を参照してください。
カーボンブラシが磨耗していないか確認	カーボンブラシの長さが磨耗限度（6㎜）くらいになったら新品と交換してください。左右同時に新品と交換してください。 （No.PS413 カーボンブラシ200SP用1セット） 
	交換方法 ① モータケース部のブラシホルダキャップをお手持ちのマイナスドライバーで外してください。 ② 中からカーボンブラシを抜き取り、油などで汚れないよう気を付けて新品と交換してください。 
ガイドピンが磨耗していないか確認	ガイドピンが磨耗してきたら、右図のように取り外して交換してください。 （No.58510 ガイドピン） 
各部取付けねじが緩んでいないか確認	緩んでいる所があれば、締め直してください。
各部の注油	次の箇所は定期的に注油をしてください。 ・ソーガイド部、回転シャフトと回転ブッシュ部、送りハンドル摺動部
モータの取り扱いについて	モータ部の巻線部分は本機の心臓部ともいえます。巻線部分にキズをつけたり、洗油や水をつけたりしないよう十分注意してください。 また、モータ内部にゴミやホコリが溜まると、故障の原因となります。 使用開始から50 時間ほど経ったら、本機をしばらくの間、無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジングの風穴から吹き込んでください。ゴミやホコリの排出に効果があります。

パイプソー 380SP

保守・点検項目	処　置
ソーガイド部に切粉・土・砂・水分が溜まっていないか確認	ソーガイド部に切粉・土・砂・水分が溜まったままの状態にしておくと、ソーガイド部が錆びついて故障の原因となります。必ず清掃したうえで、保管してください。
本機が汚れている場合は、汚れを拭き取る	本機の外枠は強靭なアルミと合成樹脂製ですが、ガソリン・シンナー・石油・灯油類を付着させると表面を傷めます。清掃する場合は、乾いた布か石けん水を付けた布などで拭いてください。
安全で乾燥した場所に保管	次のような場所では保管しないでください。 ・お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所 ・軒先など雨がかかったり、湿気のある場所 ・温度が急変する場所 ・直射日光の当たる場所 ・ガソリンやシンナーなど、可燃性の液体やガスのある場所

修理・サービスを依頼される前に

● 修理・サービスを依頼される前に下記の故障診断にしたがって点検してください。
それでも解決されない場合は、お買い求めの販売店、または当社営業所にご相談ください。

● 正しくご使用いただかない場合や、本機の用途以外に使用して故障した場合は、保証の対象外となります。

現　象	原　因	対　策
起動しない	コードが損傷・断線している	損傷・断線している場合は交換してください。
	電源電圧の低下	延長コードが長すぎたり、細すぎる場合は、P10『延長コードの確認』を参照し、適正な延長コードを使用してください。
	過負荷保護装置が作動している	モータの温度が下がるまでしばらく待ち、再度スイッチをONにしてください。
力不足	電源電圧の低下	延長コードが長すぎたり、細すぎる場合は、P10『延長コードの確認』を参照し、適正な延長コードを使用してください。
のこ刃が折れる、ガタつく	のこ刃ホルダーの締め付けボルトの緩み	締め付けボルトを締め直してください。
	無理な力を入れて切断している	無理な力を入れず、ゆっくりと切断してください。
	チェーンバイスがゆるんでいる	チェーンバイスをしっかりと固定してください。
切断中に本機が止まる	電源電圧の低下	延長コードが長すぎたり、細すぎる場合は、P10『延長コードの確認』を参照し、適正な延長コードを使用してください。
	過負荷保護装置が作動している	モータの温度が下がるまでしばらく待ち、再度スイッチONにしてください。また、切断時には無理な力を入れず、ゆっくりと切断してください。
	カーボンブラシが磨耗している	カーボンブラシの磨耗限度くらいになっていたら、交換してください。
	のこ刃が磨耗している	のこ刃が磨耗していると切断できません。新品ののこ刃に交換してください。
斜め切断	のこ刃が磨耗している	のこ刃が磨耗していると斜めに切断されます。磨耗している場合は交換してください。
	チェーンバイスが傾いて固定されている	チェーンバイスと固定している管の間に異物が挟まっている場合は、異物を取り除いてください。
	無理な力を入れて切断している	無理な力を入れず、ゆっくりと切断してください。

●お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
お問合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号　：
購入年月日:　　年　　月　　日
お買い求めの販売店

Asada アサダ株式会社

本　社 ／ 名古屋市北区上飯田西町3-60　TEL (052) 911-7165　E-mail : sales@asada.co.jp

製品の使用方法に関するお問合せは
0120-114510(イイシゴト)
(受付時間) 9:00-12:00／13:00-17:00(土・日・祝日は除く)

支　店 ／ 東京・名古屋・大阪
営業所 ／ 札幌・仙台・さいたま・横浜
広島・福岡

www.asada.co.jp

海外事業所
アサダ・タイランド社　(バンコク)
台湾浅田股份有限公司　(台北)
アサダ・ベトナム社　(ホーチミン)
アサダ・インド社　(ムンバイ)
上海浅田進出口有限公司　(上海)
アサダ USA　(オレゴン州・ユージン)

工　場
犬山工場　(愛知県・犬山市)
アサダ第一精工株式会社　(松阪市)
アサダ・マシナリー社　(バンコク)

Ver.06　コード No. IM0441　LE